

**ラキール社が全ての OSS ライセンスや脆弱性を
一括管理できるツールとして WhiteSource を導入
～早期段階における OSS チェックによりスピーディな DevSecOps を実現～**

リックソフト株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役：大貫 浩、以下：リックソフト)は、アメリカの WhiteSource 社が開発・販売するオープンソースの脆弱性を誤検知ゼロでチェックする SCA (Software Composition Analysis) ツール『WhiteSource』を活用し、開発サイクルにおける DevSecOps の実現に向けて、株式会社ラキール(本社：東京都港区、代表取締役社長：久保 努、以下：ラキール)に提供したことを 9 月 16 日に発表します。



■概要

ラキールでは「LaKeel DX」というクラウド上で稼働するデジタル・ビジネス・プラットフォームを展開し、企業のデジタルトランスフォーメーション化を推進するシステムを開発、提供しています。お客様がプロダクトを利用するための環境の開発を行うプロダクト開発本部 LaKeel Platform Group では開発工程に WhiteSource を組み込むことで、開発者自身がオープンソースソフトウェア(以下 OSS)のライセンスや脆弱性のセキュリティチェックを可能にした DevSecOps 体制を構築中です。DevSecOps とは開発 (Development) 担当者と運用 (Operations) 担当者が協調し連携する DevOps という開発サイクルにセキュリティ対策を組み込むことで高品質なソフトウェアの開発、リリースをいち早く実施しようという概念及び取り組みのことです。

昨今、ソフトウェア開発における OSS の活用は当たり前になってきました。しかし、多くの OSS を Excel で管理する事はエンジニアの負担になるだけでなく、管理漏れが起きてしまう可能性やライセンス違反に気づけないといったリスクがあります。ラキールはこうしたリスクに危機感を感じ、全ての OSS のライセンスや脆弱性を一括で管理できるツールとして、今回、DevSecOps の実現に向けて WhiteSource を導入いただきました。

開発者自身が開発サイクルの早い段階でセキュリティチェックを行うことにより、開発スピードを早め、より高品質なサービスの提供を目指します。

事例 URL : <https://www.ricksoft.jp/case-studies/lakeel.html>

■WhiteSource について



オープンソースコンポーネントの検知・選択・脆弱性診断・警告・レポート生成が可能なコンプライアンス管理ソリューションです。誤検出ゼロを誇る『WhiteSource』は、OSS のソースコード解析やリポジトリ照合、独自の脆弱性データベースなどを駆使することで、OSS の脆弱性の早期発見を可能にします。

製品紹介ページ：<https://www.ricksoft.jp/whitesource/>

■今後の展望

WhiteSource を通して開発サイクルの改善だけでなく、開発者自身の OSS に対するセキュリティ意識を高め、引き続き LaKeel Platform Group の価値向上に貢献して参ります。また、今後お客様にとって最も価値のあるツールの使い方を提案できるよう取り組んでまいります。

【リックソフト株式会社について】



リックソフトは「価値あるビジネスソフトウェアで世界中のお客様の価値向上に貢献する」をビジョンとした、働き方改革を後押しする会社です。海外の先進的なツールのパートナーとしてグローバルでもトップ 10 の実績をほこり、同時に自社アプリを開発しています。また導入から運用までをフォローすることで、カスタマーサクセスを実現します。

社名：リックソフト株式会社

本社所在地：〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-1-1 大手町野村ビル 8 階

設立：2005 年 1 月 4 日

代表取締役：大貫 浩

取扱製品：Jira Software, Confluence, Slack, Workato, WhiteSource

ホームページ：<https://www.ricksoft.jp/>

<登録商標について>

記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

<本リリースに関するお問い合わせ先>

リックソフト株式会社 ソリューション 3 部 プレスリリース担当 花渕
現在、在宅勤務中につき、メールにてお問い合わせください：pr@ricksoft.jp